THE GOLF WATCH smart

サポートツール 取扱説明書

（使用方法編）

第 1.0 版

目次

※ パソコン(Adobe Reader)でご覧の場合は、目次の各章・節をクリックすると、その章・節へジャンプします。

また、Adobe Reader の「しおり」アイコンをクリックするとしおりが表示され、各章・節へのジャンプを簡単に行うことができます。

1. はじめに

グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』 サポートツール（以下「サポートツール」と記述します）とは、以下の機能を持つパソコン向けのソフトウェアです。

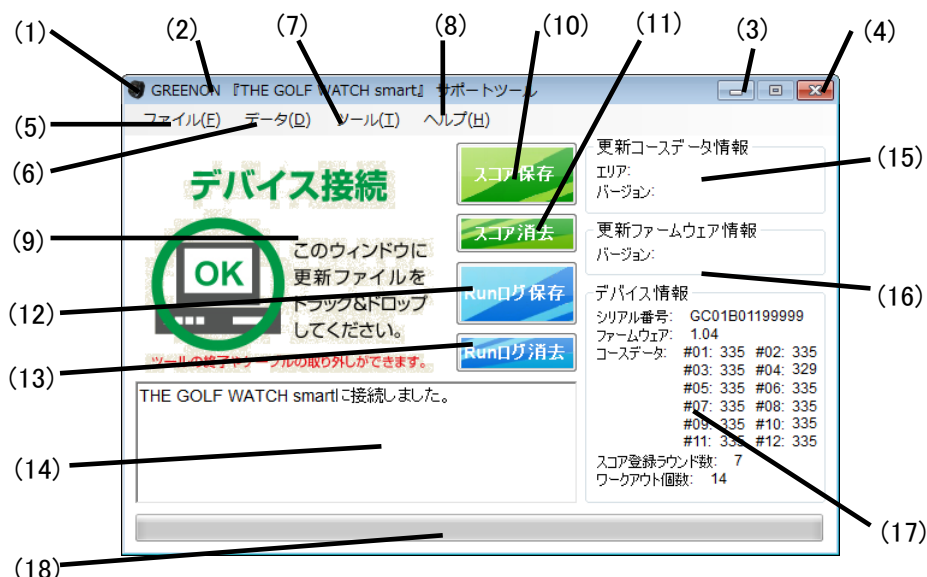
(1) スコア／ショット履歴データの保存
(2) スコア／ショット履歴データの消去
(3) ランニングログ（Run ログ）データの保存
(4) Run ログデータの消去
(5) コースデータの更新
(6) ファームウェアの更新

すなわち、パソコンからのグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』に対する情報の読み書きは、全てサポートツールを通して行うこととなります。

本マニュアルには、インストール後の使用方法を記述しております。インストール方法につきましてはサポートツール取扱説明書（インストール編）をご参照ください。

2. サポートツールの使用方法

グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』 サポートツールの使用方法を以下に記述します。

2.1. 各部の名称

(1) アプリケーションアイコン。クリックするとシステムメニューが表示されます。

(2) タイトル。「GREENON 『THE GOLF WATCH smart』 サポートツール」と表示されます。

(3) 最小化ボタン。クリックするとサポートツールのウインドウを最小化します。

※ サポートツールは、最大化およびサイズ変更はできません。

(4) 「閉じる」ボタン。クリックするとサポートツールを終了します。

(5) ファイルメニュー。クリックすると更新ファイルの指定などを行うサブメニューが表示されます。

(6) データメニュー。クリックするとスコアデータ／ショット履歴やランニングログの保存、消去を行うサブメニューが表示されます。

(7) ツールメニュー。クリックすると初期フォルダーの設定を行うサブメニューが表示されます。

(8) ヘルプメニュー。クリックするとグリーンオン Web サイトの表示やバージョン情報の表示を行うサブメニューが表示されます。

(9) 処理状態イメージ。現在の処理状態をグラフィックスで表示します。

(10)スコア保存ボタン。クリックするとスコアデータ／ショット履歴の保存を行います。

(11)スコア消去ボタン。クリックするとスコアデータ／ショット履歴の消去を行います。

(12)Run ログ保存ボタン。クリックするとランニングログデータの保存を行います。

(13)Run ログ消去ボタン。クリックするとランニングログデータの消去を行います。

(14)メッセージ表示エリア。処理状態や処理結果が表示されます。

(15)更新コースデータ情報。コースデータ更新を行う際に、更新するコースデータのエリア番号およびバージョンが表示されます。

(16)更新ファームウェア情報。ファームウェア更新を行う際に、更新するファームウェアのバージョンが表示されます。

(17)デバイス情報。接続されているグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』のシリアル番号、ファームウェアバージョン、各エリアのコースデータバージョン、スコア登録ラウンド数、ワークアウト登録個数が表示されます。

(18)プログレスバー。更新処理や各種データ保存・消去処理の進行状況が表示されます。

2.2. サポートツールの起動

(1) サポートツールを使用する前に、必ずグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』本体を付属の専用充電／通信ケーブルを用いてパソコンの USB ポートに接続してください。

接続後に、メイン時計画面にバッテリーアイコンが表示されていることを確認します。

注意

1. **サポートツールを動作させる際は、パソコンにはグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』を 2 台以上接続しないでください。**
2. **サポートツールの処理状態イメージに「処理中」と表示されている間は専用充電／通信ケーブルを外さないでください。**
3. **本体側面の充電／通信端子が汚れていると、パソコンとグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』との通信を正常に行えないことがあります。このような場合は綺麗なプラスチック消しゴムで端子をクリーニングしてから接続してください。**

(2) デスクトップ上のショートカットアイコン「THE GOLF WATCH smart」をダブルクリックして、サポートツールを起動します。

※ スタートメニューより「すべてのプログラム」→「MASA」→「GREENON 『THE GOLF WATCH smart』 サポートツール」をクリックしてもサポートツールを起動することができます。

(3) 起動すると、処理状態イメージが「デバイス接続」となります。

これで、パソコンとグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』が通信できる状態となりました。

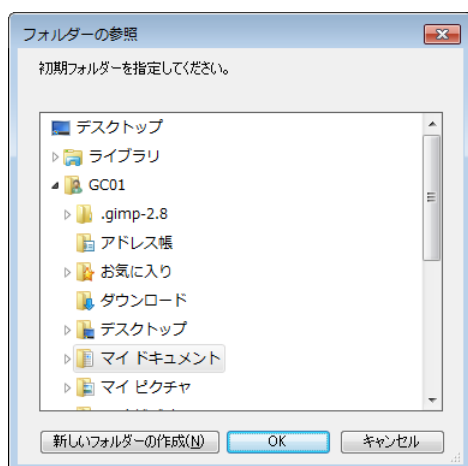
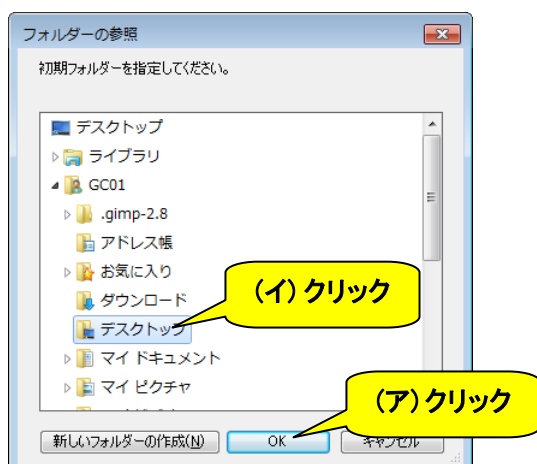
グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』がパソコンに接続されていない場合は以下のように「デバイス未接続」と表示されます。この場合はグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』をパソコンに接続してサポートツールを再起動してください。

グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』がパソコンに接続されていても「デバイス未接続」表示の場合はケーブルの接触が良くないことが考えられますのでケーブルの接続を確認してください。

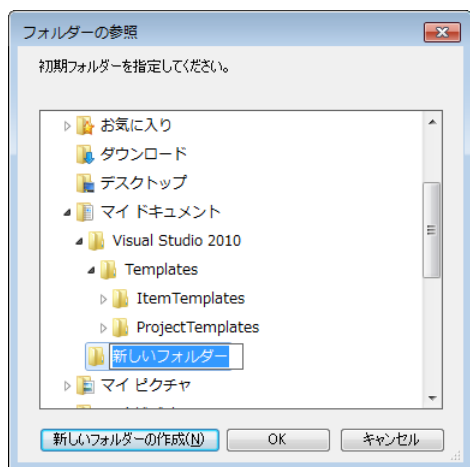
2.3. データファイル保存フォルダー（初期フォルダー）の設定

スコアデータやショット履歴、ランニングログデータの保存場所は初期状態では「ドキュメント」フォルダーとなっております。これを変更するには以下の手順で行います。

(1) サポートツールを起動し、メニューの「ツール」→「初期フォルダー」をクリックします。

クリックすると、以下のように「フォルダーの参照」ウインドウが表示されます。

(2) 初期フォルダーに設定したいフォルダーをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

上の画面イメージでは、「デスクトップ」を選択しています。

「OK」ボタンをクリックするとウインドウが閉じ、次回ツール起動時から初期フォルダーが変更されます。

(3) 新しいフォルダーを作成して初期フォルダーに設定する場合は、「新しいフォルダーの作成」ボタンをクリックします。

上の画面のイメージのように「新しいフォルダー」が反転している状態で、名前を入力して「Enter」キーを押してください。その後「OK」ボタンをクリックすると初期フォルダーに設定されます。

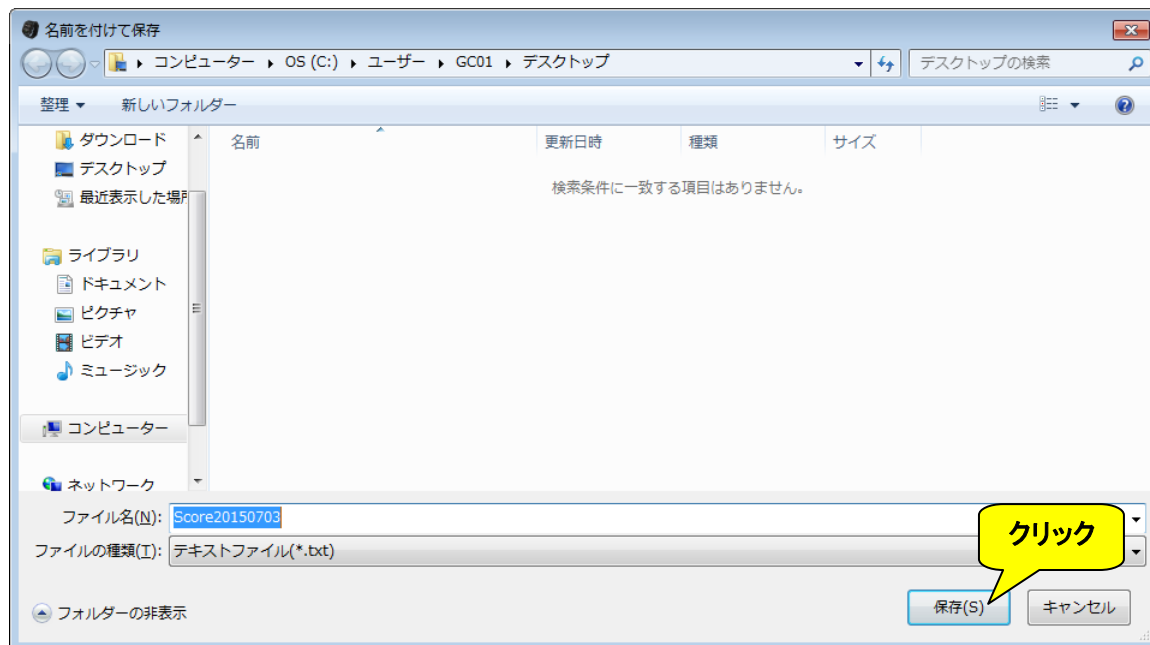
2.4. スコア／ショット履歴データの保存

以下の手順にて、スコア／ショット履歴データの保存を行います。

以下の手順はサポートツールを起動し、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』と接続された状態で行います。（接続の手順は「2.2 サポートツールの起動」をご参照ください。）

(1) 「スコア保存」ボタンをクリックします。

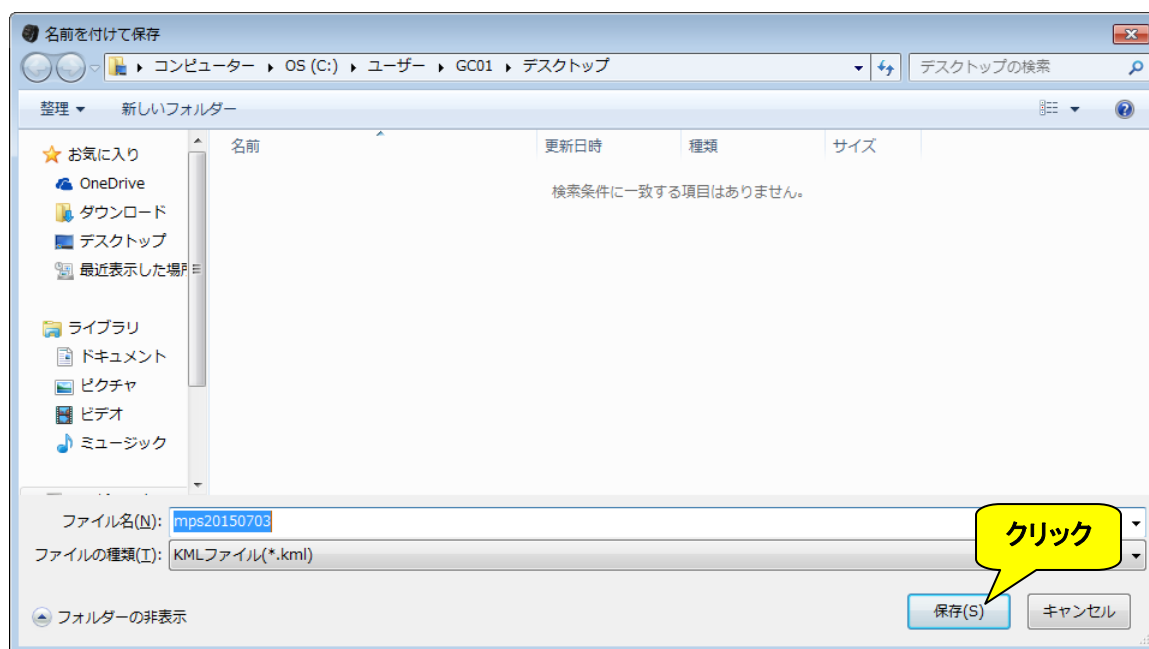
※ メニューより「データ」→「スコア保存」をクリックすることによってもスコア／ショット履歴データの保存が可能です。

(2) スコアデータ読み出し完了後、以下のようにファイル保存ダイアログが表示されます。
ファイル名や保存フォルダーを必要に応じて変更し、「保存」ボタンをクリックします。

※ スコアデータファイルの保存フォルダーは初期フォルダーの設定に従います。初期フォルダーのデフォルト設定は「ドキュメント」フォルダーとなっております。

※ スコアデータの保存ファイル名は変更しなければ「Score *YYYYMMDD*.txt」となります。
（*YYYYMMDD* = スコアデータ／ショット履歴保存を行った年月日）

(3)　スコアデータ読み出しに続けてショット履歴データ読み出しが行われます。

ショット履歴データの読み出しが完了すると、以下のように「名前を付けて保存」ダイアログが再び表示されます。

ここで、ショット履歴データ保存ファイル名を必要に応じて変更し、「保存」ボタンをクリックします。

※　ショット履歴データファイルの保存フォルダーは初期フォルダーの設定に従います。初期フォルダーのデフォルト設定は「ドキュメント」フォルダーとなっております。

※　ショット履歴の保存ファイル名は変更しなければ「mps *YYYYMMDD*.kml」となります。

（*YYYYMMDD* =　スコアデータ／ショット履歴保存を行った年月日）

(4)　初期フォルダーに指定したフォルダー（または、手順(2)および手順(5)にて指定したフォルダー）に、スコアデータファイルおよびショット履歴データファイルが保存されます。

以下のファイルが保存されます。

①　**「ファイル名.txt」ファイル**（「ファイル名」は手順(2)にて指定したファイル名です。）

スコアデータファイル

ラウンドした日付、開始時刻、終了時刻、コース情報、各ホールのショット数およびパット数が記録されています。スコアの入力方法につきましては、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』本体の取扱説明書を参照してください。

②　**「ファイル名.kml」ファイル**（「ファイル名」は手順(5)にて指定したファイル名です。）

ショット履歴データファイル

ショット地点登録を行った日付・時刻、位置（経度・緯度）、ホール番号、ホール毎のショット数が記録されています。ショット地点の登録方法につきましては、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』本体の取扱説明書を参照してください。

これらのファイルは、グリーンオン倶楽部内の「スコア管理」に登録が可能です。

スコア管理につきましては、グリーンオン倶楽部内の「スコア管理」より、マニュアルを参照してください。

2.5. スコア／ショット履歴データの消去

以下の手順にて、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』に記録されたスコア／ショット履歴データの消去を行います。

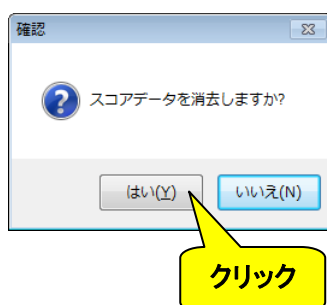
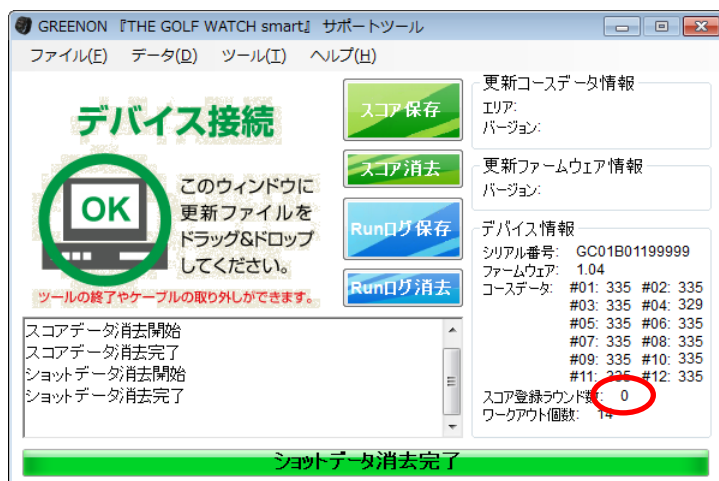
以下の手順はサポートツールを起動し、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』と接続された状態で行います。（接続の手順は「2.2 サポートツールの起動」をご参照ください。）

※ スコア／ショット履歴データはグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体で直接削除することもできます。

(1) 「スコア消去」ボタンをクリックします。

※ メニューより「データ」→「スコア消去」をクリックすることによってもスコア／ショット履歴データの消去が可能です。

(2) 以下のように確認ダイアログが表示されます。

スコア／ショット履歴データのグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体からの消去を実行する場合は「はい」、消去を行わない場合は「いいえ」をクリックします。

（3） スコア／ショット履歴データ消去完了

スコア／ショット履歴データ消去完了後、「デバイス情報」の「スコア登録ラウンド数」の表示が更新されます。

2.6.　ランニングログの保存

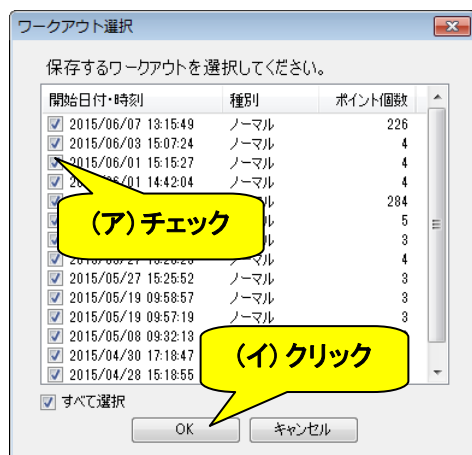
以下の手順にて、ランニングログ（Run ログ）の保存を行います。

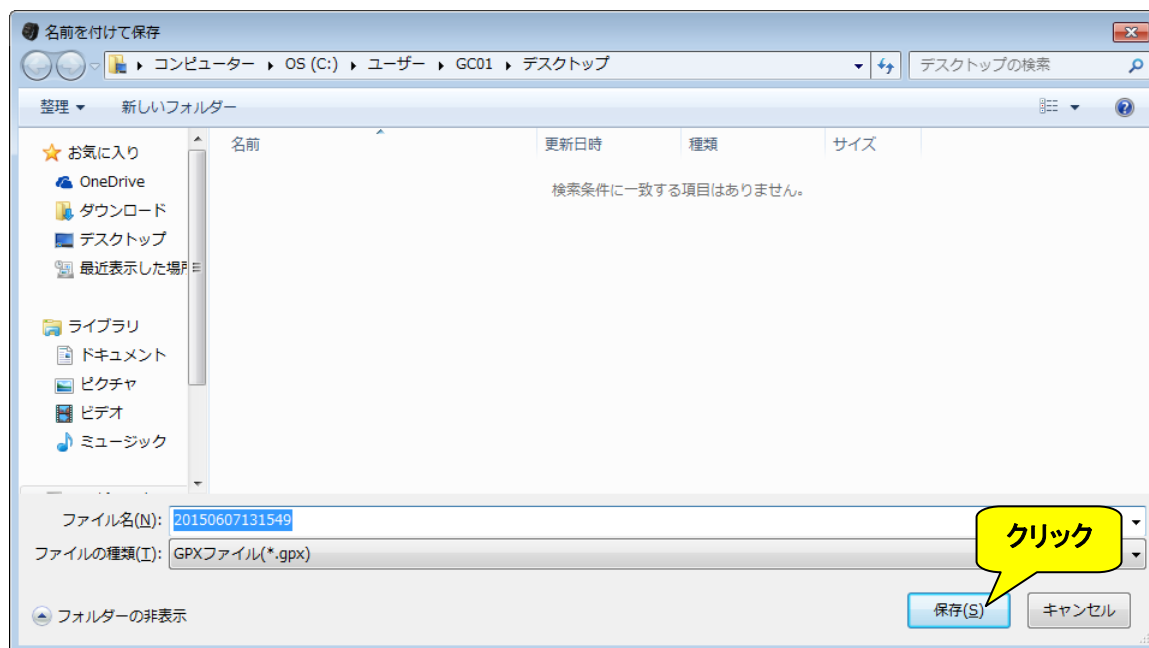
以下の手順はサポートツールを起動し、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』と接続された状態で行います。

（接続の手順は「2.2 サポートツールの起動」をご参照ください。）

(1)　「Run ログ保存」ボタンをクリックします。

※　メニューより「データ」→「Run ログ保存」をクリックすることによってもランニングログ保存が可能です。

(2)　ワークアウトデータ読み出しが行われ、ワークアウト選択画面が表示されます。

この画面で保存するワークアウトデータのチェックをオンにし、「OK」ボタンをクリックします。

(3) ファイル名や保存フォルダーを必要に応じて変更し、「保存」ボタンをクリックします。

※ Run ログデータはワークアウト毎にファイルを分割して保存します。手順(2)で選択したワークアウトの個数分、ファイル保存が繰り返し行われます。

※ Run ログファイルの保存フォルダーは初期フォルダーの設定に従います。初期フォルダーのデフォルト設定は「ドキュメント」フォルダーとなっております。

※ スコアデータの保存ファイル名は変更しなければ「*YYYYMMDDhhmiss*.gpx」となります。
（*YYYYMMDDhhmiss* = ワークアウトを開始した年月日時分秒）

(4) 初期フォルダーに指定したフォルダー（または、手順(3)にて指定したフォルダー）に、Run ログデータファイルが保存されます。

以下のファイルが保存されます。

① **「ファイル名.gpx」ファイル**（「ファイル名」は手順(3)にて指定したファイル名です。）
Run ログデータファイル
ランニングした日付・時刻、位置（経度・緯度）、心拍数、ラップ数が記録されています。

このファイルは、ランニング SNS サイト「Marathon’s World」に登録が可能です。
Marathon’s World をご利用の場合は、以下の URL よりユーザー登録を行ってください。

- Marathon’s World
  http://www.marathonsworld.com/artapp/signup.php
  ※ Facebook アカウントをお持ちの方は、以下の URL より Facebook からログインすることも可能です。
  http://www.marathonsworld.com/artapp/login.php

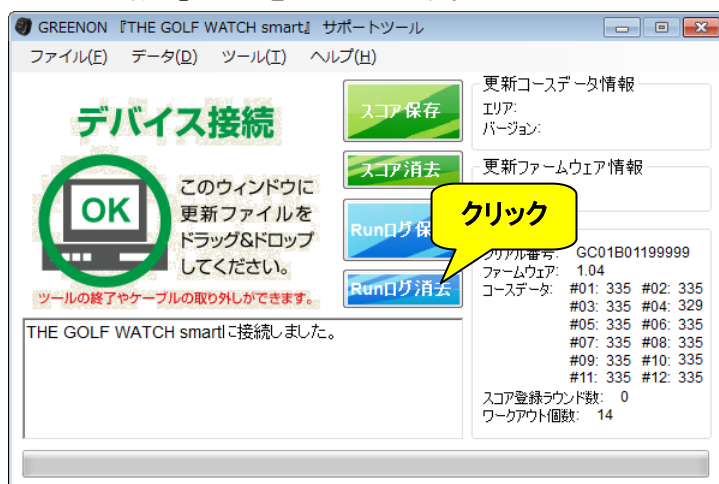
Marathon’s World にログインすると、ホーム画面の「GPX/TCX ファイルをアップロード」の右側の「参照...」ボタンをクリックして GPX ファイルのアップロードを行うことにより、ランニングログデータを登録することができます。

2.7.　ランニングログの消去

以下の手順にて、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』に記録されたランニングログデータの消去を行います。

以下の手順はサポートツールを起動し、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』と接続された状態で行います。(接続の手順は「2.2 サポートツールの起動」をご参照ください。)

※　ランニングログデータはグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』本体で直接削除することもできます。

(4) 「Run ログ消去」ボタンをクリックします。

※　メニューより「データ」→「Run　ログ消去」をクリックすることによってもランニングログデータの消去が可能です。

(5) 以下のように確認ダイアログが表示されます。

ランニングログデータのグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ　スマート』本体からの消去を実行する場合は「はい」、消去を行わない場合は「いいえ」をクリックします。

(6) ランニングログデータが消去されると、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体がリセットされるため、以下のように処理状態が一時的に「デバイス未接続」となります。

グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体が再起動すると、以下のように処理状態が「デバイス接続」となり、Run ログデータ消去が完了します。

Run ログデータ消去完了後、「デバイス情報」の「ワークアウト個数」の表示が更新されます。

2.8. コースデータの更新

以下の手順にて、コースデータの更新を行います。

(1) グリーンオン倶楽部にログインし、「ユーザメニュー」の「ダウンロード情報」をクリックします。

(2) 「ダウンロード」の「ザ・ゴルフウォッチ スマートをお持ちの方はコチラ」をクリックします。

(3)「ザ・ゴルフウォッチ　スマート関連」の「コースデータダウンロード」をクリックします。

GREENON 倶楽部　各種データのダウンロード

ザ・ゴルフウォッチ　スマート関連

必要なファイルをダウンロードしてご利用ください

※データ更新をされる前には必ず使用方法ページからデータ更新ガイドをご確認ください。

全国3,377コース、海外536コース、ゴルフ場数：2,381（海外332）

（2015/06/26 V338）

コースデータ対応エリア

- CourseGC01:北海道、青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島
- CourseGC02:茨城、栃木
- CourseGC03:群馬、埼玉、東京
- CourseGC04:千葉、神奈川
- CourseGC05:新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜
- CourseGC06:山梨、静岡、愛知
- CourseGC07:三重、滋賀、京都、奈良、和歌山
- CourseGC08:大阪、兵庫
- CourseGC09:鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、高知、愛媛、香川
- CourseGC10:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- CourseGC11:シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、フィリピン、台湾、中国・香港
- CourseGC12:オーストラリア、ニュージーランド、グアム・サイパン、ハワイ

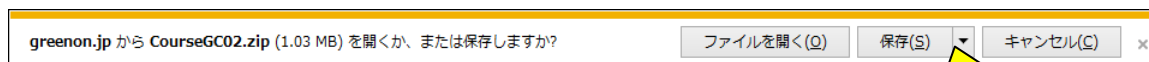
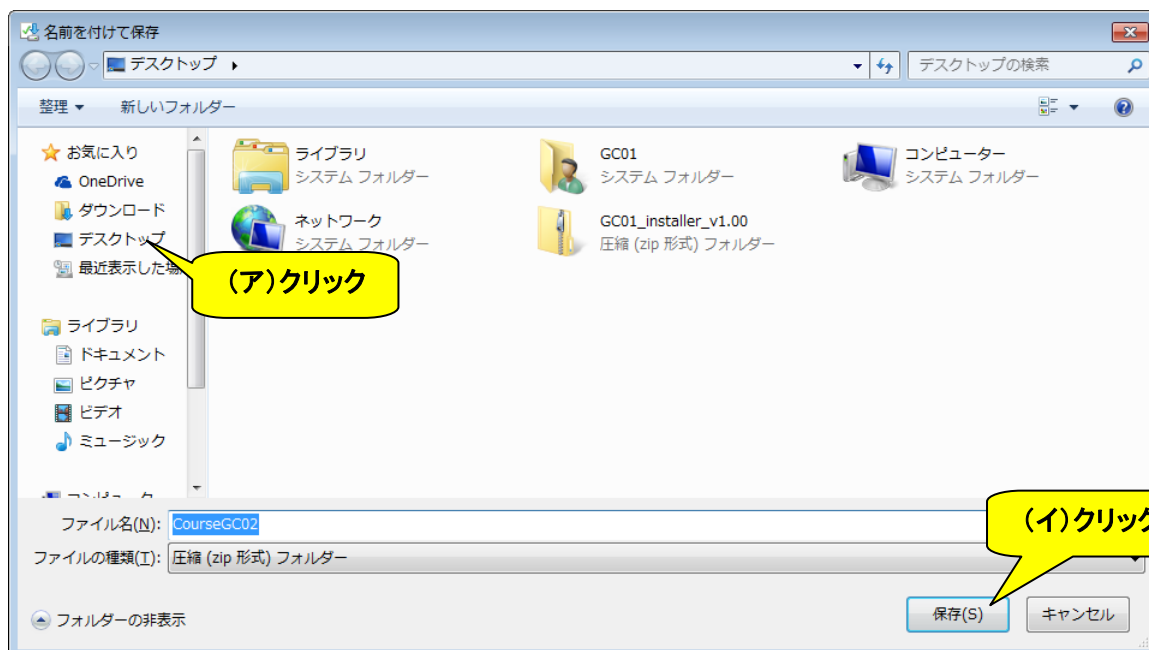
- サポートツール（32/64ビットOS兼用）

ザ・ゴルフウォッチ［縦型］、［横型］、ザ・ゴルフウォッチマーク2、マーク2プラス、
およびザ・ゴルフウォッチ　スポルトとの互換性はありません、ご注意ください。

- ファームウェアv1.04

(4)「ザ・ゴルフウォッチ　スマートのコースデータ」の、ご希望のエリアの「ダウンロード」をクリックします。

※　OS やブラウザ(Internet Explorer)のバージョンにより、以降(5)、(6)のダウンロード手順が本マニュアルと異なることがあります。ダウンロード手順につきましては、グリーンオン Web サイトの、グリーンオン倶楽部ヘルプ「ダウンロード方法」を参照してください。

(5) 以下のようにブラウザ下部にダイアログが表示されます。「保存」ボタン右側の「▼」をクリックし、表示されるメニューの「名前を付けて保存」をクリックしてコースデータファイルの保存を行います。

(6) ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

ウインドウ左側に上図のように「デスクトップ」が表示されていない場合は、ウインドウ左下の「フォルダーの参照」をクリックしてください。

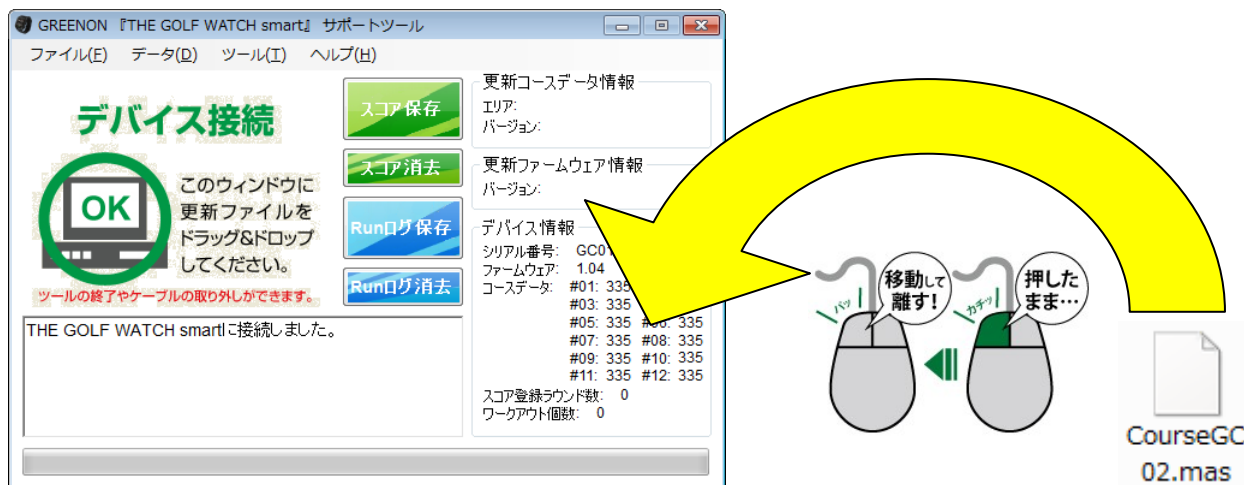
(7) デスクトップに保存されたコースデータファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択することにより、ZIP ファイルを展開します。(+Lhaca のような解凍ツールを使うことも可能です。)

※ **ZIP ファイルをダブルクリックで開いた場合は内部のファイルをサポートツールに直接ドラッグ&ドロップすることはできません。必ず「すべて展開」を行ってから以降の手順に進んでください。**

(8) パソコンとグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』を専用充電／通信ケーブルで接続し、サポートツールを起動します。(接続の手順は「2.2 サポートツールの起動」をご参照ください。)

(9) デスクトップ上の、展開されたコースデータフォルダーをダブルクリックして開きます。

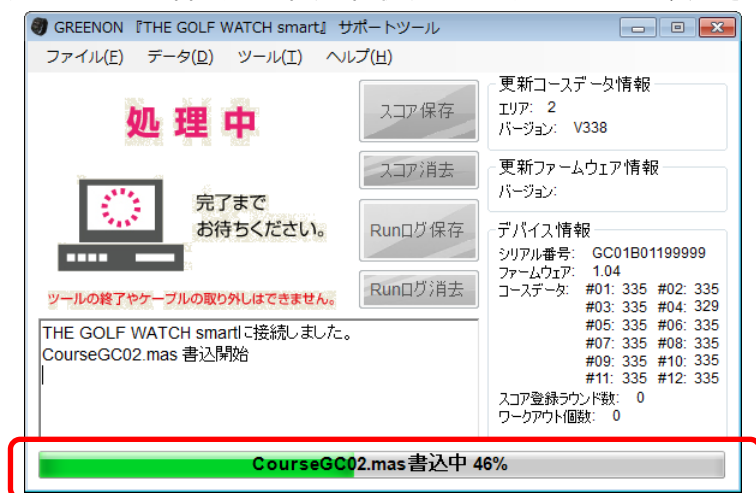
(10)展開されたコースデータフォルダー内の「CourseGC_XX」(XX ＝ コースデータのエリア番号)フォルダーをダブルクリックして開きます。

(11)処理状態イメージが「デバイス接続」となっている状態で、(10)で開いたフォルダー内の「CourseGCXX.mas」(XX = コースデータのエリア番号)ファイルをサポートツールのウインドウにドラッグ&ドロップします。

※1 ドロップする場所はサポートツールのウインドウの上であればどこでも構いません。

※2 ZIP ファイル内のファイルを直接サポートツールにドラッグ&ドロップすることはできません。必ず ZIP ファイルを展開してからドラッグ&ドロップしてください。

※3 複数の更新データファイルを同時にドラッグ&ドロップすることができます。この場合、ドラッグ&ドロップを行う更新ファイルをすべて 1 つのフォルダーに格納するようにしてください。

※4 ドラッグ&ドロップ操作が難しい場合は、メニューより「ファイル」→「コースデータ更新」をクリックすることにより「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、(7)にて展開されたフォルダー内の CourseGCXX.mas ファイルを指定することによりコースデータの更新を行うことができます。

(12)コースデータ書き込み中(進行状況がプログレスバーに表示されます。)

コースデータの書き込みには、1～5 分程度の時間がかかりますので、完了までお待ちください。

(13)コースデータ更新完了(デバイス情報の、更新を行ったエリアの「コースデータ」バージョンが更新されます。)

※ コースデータ更新完了後は、デスクトップにあるコースデータの ZIP ファイルや、ZIP ファイルを展開して出来上がったフォルダーを削除しても問題はありません。

2.9. ファームウェアの更新

以下の手順にて、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』のファームウェアの更新を行います。

※ ファームウェア更新は、ザ・ゴルフウォッチ スマート本体が十分に充電された状態で行ってください。

(1) グリーンオン倶楽部にログインし、「ユーザメニュー」の「ダウンロード情報」をクリックします。

(2) 「ダウンロード」の「ザ・ゴルフウォッチ スマートをお持ちの方はコチラ」をクリックします。

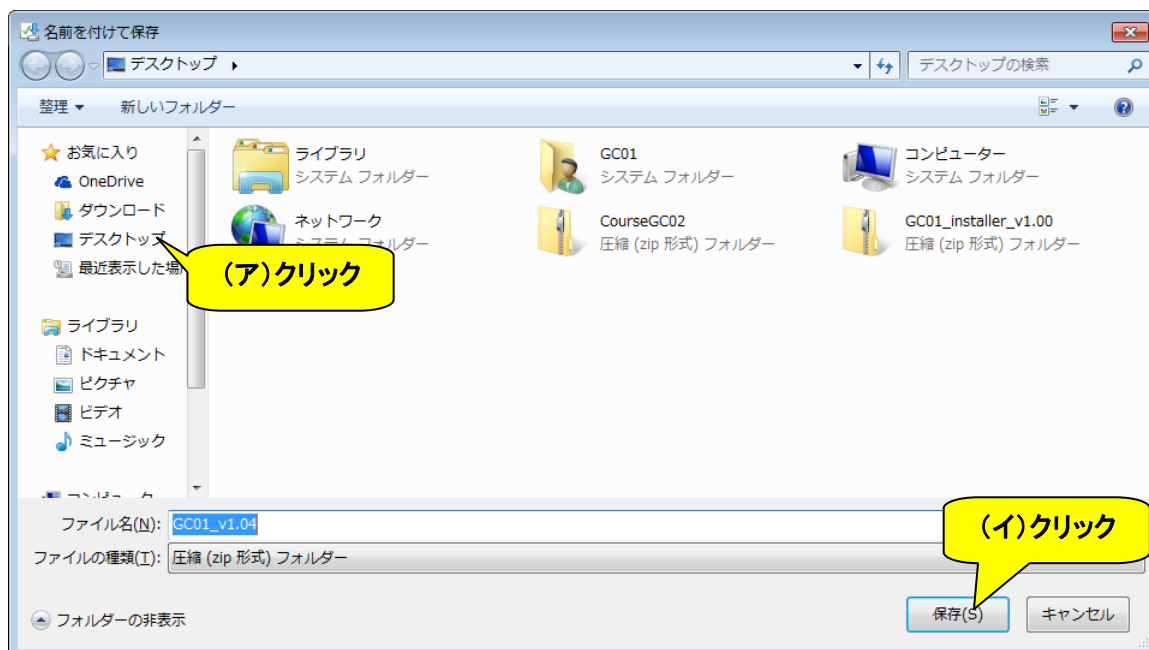
(3)「ザ･ゴルフウォッチ　スマート関連」の「ファームウェア」をクリックします。

※　**更新版のファームウェアが公開されていない場合はクリックしてもダウンロードページは表示されません。**

(4)「ザ･ゴルフウォッチ　スマートのファームウェア」の「ダウンロード」をクリックします。

※　**OS やブラウザ（Internet Explorer）のバージョンにより、以降(5)、(6)のダウンロード手順が本マニュアルと異なることがあります。ダウンロード手順につきましては、グリーンオン Web サイトの、グリーンオン倶楽部ヘルプ「ダウンロード方法」を参照してください。**

(5) 以下のようにブラウザ下部にダイアログが表示されます。「保存」ボタン右側の「▼」をクリックし、表示されるメニューの「名前を付けて保存」をクリックしてファームウェアファイルの保存を行います。

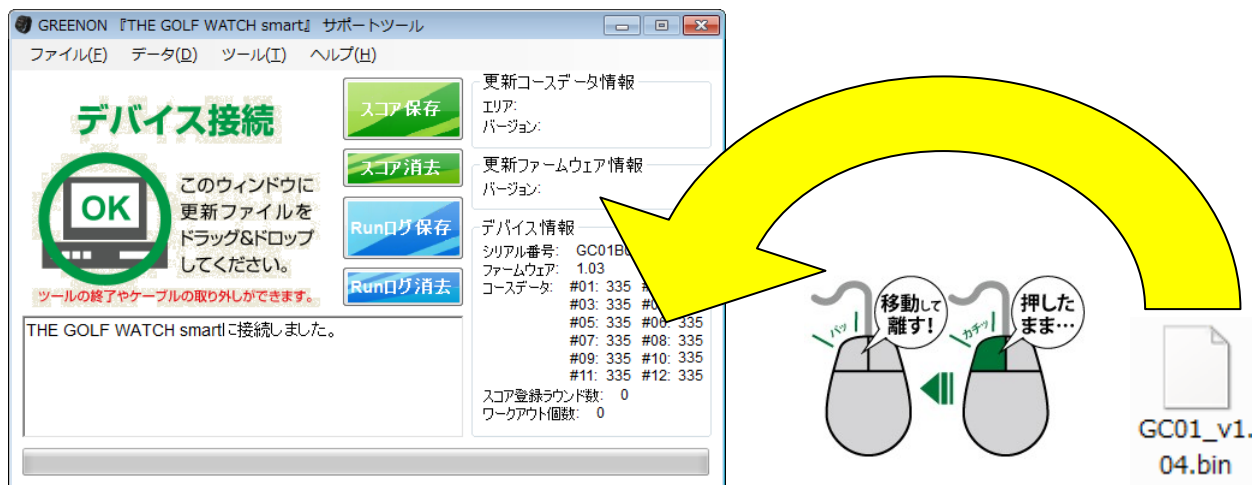
(6) ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

(7) デスクトップに保存されたファームウェアファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択することにより、ZIP ファイルを展開します。(+Lhaca のような解凍ツールを使うことも可能です。)

※ **ZIP ファイルをダブルクリックで開いた場合は内部のファイルをサポートツールに直接ドラッグ&ドロップすることはできません。必ず「すべて展開」を行ってから以降の手順に進んでください。**

(8) パソコンとグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』を専用充電/通信ケーブルで接続し、サポートツールを起動します。(接続の手順は「2.2 サポートツールの起動」をご参照ください。)

(9) デスクトップ上の、展開されたファームウェアフォルダーをダブルクリックして開きます。

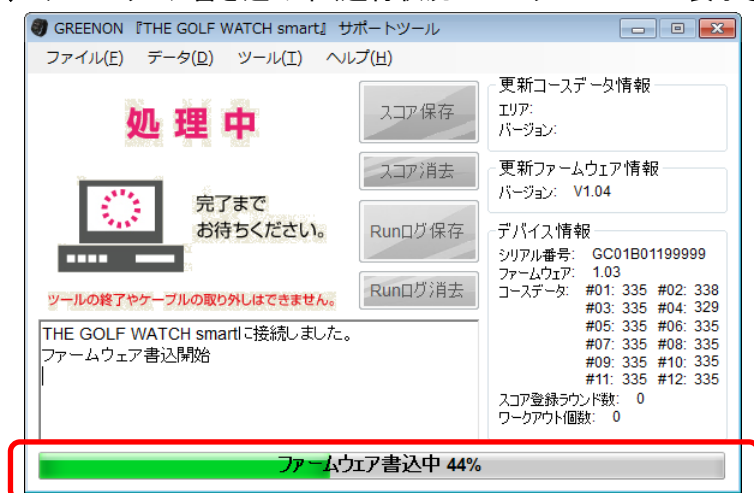
(10) 展開されたファームウェアフォルダー内の「GC01_vX.XX」(X.XX = ファームウェアのバージョン番号)フォルダーをダブルクリックして開きます。

(11)処理状態イメージが「デバイス接続」となっている状態で、(10)で開いたフォルダー内の「GC01_vX.XX.bin」(X.XX = ファームウェアのバージョン番号)ファイルをサポートツールのウインドウにドラッグ&ドロップします。

※1 ドロップする場所はサポートツールのウインドウの上であればどこでも構いません。

※2 ZIP ファイル内のファイルを直接サポートツールにドラッグ&ドロップすることはできません。必ず ZIP ファイルを展開してからドラッグ&ドロップしてください。

※3 複数の更新データファイルを同時にドラッグ&ドロップすることができます。この場合、ドラッグ&ドロップを行う更新ファイルをすべて 1 つのフォルダーに格納するようにしてください。

※4 ドラッグ&ドロップ操作が難しい場合は、メニューより「ファイル」→「ファームウェア更新」をクリックすることにより「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、(7)にて展開されたフォルダー内の GC01_vX.XX.bin ファイルを指定することによりファームウェアの更新を行うことができます。

(12)ファームウェア書き込み中(進行状況がプログレスバーに表示されます。)

ファームウェアの書き込みには、1～2 分程度の時間がかかりますので、完了までお待ちください。

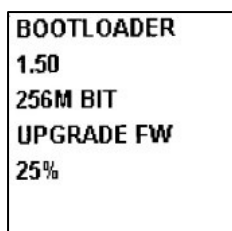
※ **ファームウェア書き込み中は、パソコンとグリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』のケーブル接続を絶対に外さないでください。**

(13)ファームウェア書き込みに引き続いて、ファームウェアの検証が行われます。

（進行状況がプログレスバーに表示されます。）

ファームウェアの検証には、1 分程度の時間がかかりますので、完了までお待ちください。

(14)ファームウェア検証が完了すると、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体がリセットされるため、サポートツールの処理状態が「デバイス未接続」となります。

このとき、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』は以下のような画面表示となり、ファームウェア更新処理が行われます。

進行に従って「UPGRADE FW」のパーセンテージが増加していきますので、更新完了（100%）までお待ちください。

※ **ファームウェア更新中は、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体のキー操作やリセット、電源 OFF は絶対に行わないでください。**

(15)グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』本体のファームウェア更新処理が完了すると、サポートツールの表示状態は「デバイス接続」となります。(デバイス情報の、「ファームウェア」バージョンが更新されます。)

このとき、本体の画面は時計表示となります。

ファームウェア更新を行った後の時計表示設定(アナログ/デジタル)、日付と時刻は更新前の時計表示設定、日付と時刻を維持しておりますので、再度設定を行う必要はありません。

※ **ファームウェア更新完了後は、デスクトップにあるファームウェアの ZIP ファイルや、ZIP ファイルを展開して出来上がったフォルダーを削除しても問題はありません。**

2.10. サポートツールのバージョン確認

サポートツールのバージョンを確認するには、以下の手順にて行います。

(1) ヘルプメニューの「バージョン情報」をクリックします。

(2) 選択すると、バージョン情報ウインドウが表示されます。

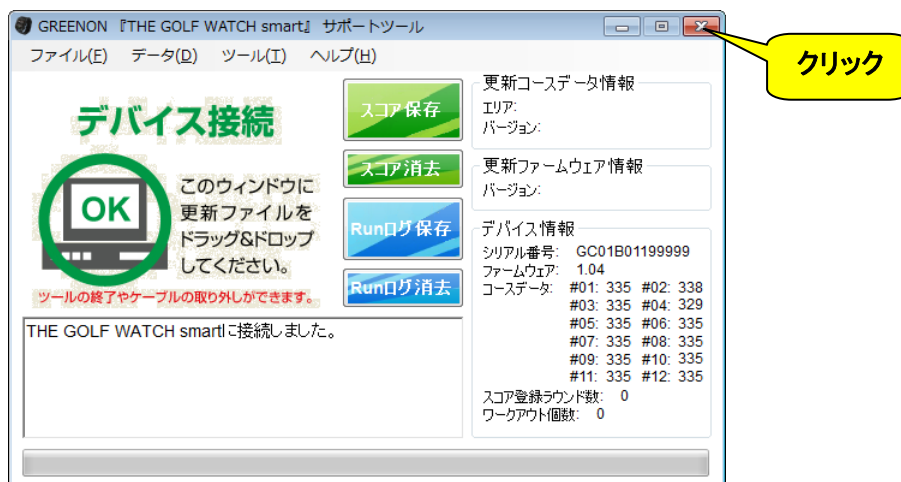
バージョン確認は、処理状態イメージが「処理中」以外のときに行うことができます。

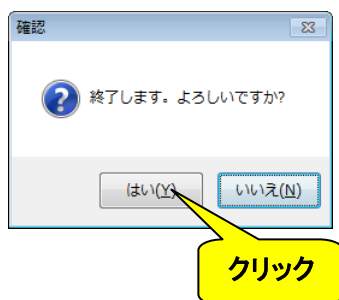
また、バージョン情報ウインドウが表示されている間は、サポートツールのメインウインドウは操作できなくなります。

(3) 「OK」ボタンをクリックすると、バージョン情報ウインドウが閉じられます。

2.11. サポートツールの終了

サポートツールを終了するには、以下の手順にて行います。

(1) 「閉じる」ボタンをクリックします。

※ メニューより「ファイル」→「終了」をクリックしてもサポートツールを終了させることができます。

(2) 以下のように確認ダイアログが表示されます。ここで「はい」ボタンをクリックするとサポートツールが終了します。

処理状態イメージが「処理中」となっている場合は、終了を含め、すべての操作を行うことができません。

このような場合は処理が完了するまでお待ちください。

(3) サポートツールの終了後は、グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ スマート』を専用充電／通信ケーブルから外すことができます。